

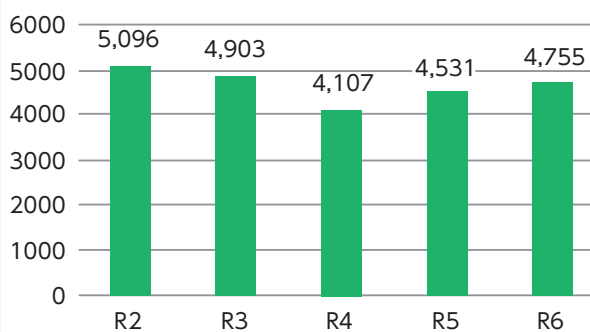
大項目
6

みんなが
情報を共有し
必要な行政サービスを
受けながら便利に暮らす
「開かれたまち」

現状と課題

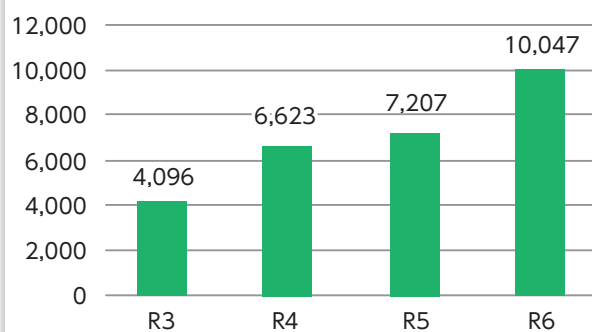
- ・市に関する情報は、市公式ホームページや広報かめま、SNSなど様々なツールを用いて、効果的かつタイムリーに発信していますが、デジタル化の進展に伴い、市民が情報を得る手段は多様化し、より戦略的な情報発信が求められています。
- ・市民との対話集会や世論調査、広聴メール等の市政運営へのさらなる活用について検討する必要があります。
- ・市政運営の見える化に向け、積極的な情報の開示が求められています。

ホームページのアクセス数（件/日）



出典：鹿沼市調べ

LINE 登録者数（人）



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・利便性が高くアクセスしやすく、適時性の高い情報発信ができる公式ホームページの運用・更新
- ・広報紙やSNSなど、各種メディアの特性を生かした効果的な情報発信
- ・市民の意見に対するスピーディで適切な対応
- ・市民との対話の場の拡充

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	市公式ホームページ閲覧数	回	1,813,000	2,041,000
2	市公式ライン登録者数	人	10,047	47,221

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 広報の充実	① 行政情報の速やかな発信	・ 広報かぬまの発行 ・ 市長定例記者会見の開催 ・ 利便性の高いホームページへの改善 ・ ホームページや SNS など各種メディアの特性を生かした効果的な情報発信【再掲】
	② 統計情報の提供	・ 国勢調査など基幹統計調査の実施 ・ 鹿沼市統計書の公表
(2) 広聴の充実	① 市民の声を反映した市政の推進	・ 幅広く市民の声を収集するための市政に関する世論調査の実施 ・ 市の施策への意見を聴取するためのパブリックコメントの実施 ・ 市民の意見に対するスピーディで適切な対応
(3) 市民参画機会の充実	① 市民との対話の場の拡充	・ 市民との対話事業（かぬま未来ミーティング等）の開催 ・ 和やかな雰囲気です市長と意見交換する「かぬま夢談議」の開催
	② 情報公開の推進	・ 情報公開・個人情報保護制度の適正運用 ・ 審議会等の公開

大項目

6

「開かれたまち」

関連 SDGs

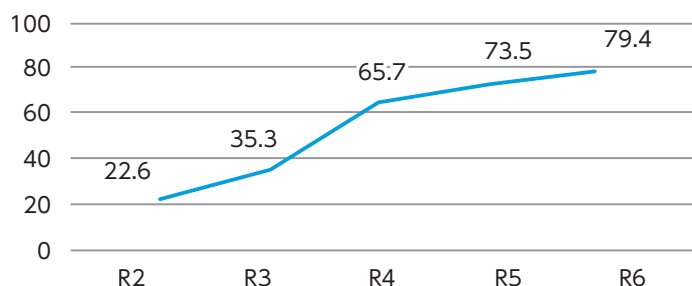


かぬま未来ミーティング

現状と課題

- ・デジタル技術の進展を背景に、人と人の接触を避けるコロナ禍を経て、DX ※は急速に浸透してきました。
- ・生産年齢人口の減少により、あらゆる場面で担い手が不足し、生産性や作業効率の向上にデジタル技術が担う役割は大きくなっています。
- ・行政における市民の利便性の向上と業務の効率化を目的とした、DX の活用が求められています。
- ・デジタル技術を活用できる人とできない人の格差をなくし、すべての市民がその恩恵を享受できるよう対策が必要です。
- ・地域社会や経済の持続的な発展に向けて、あらゆる分野への DX 導入が求められています。

マイナンバーカード交付率の推移（％）



出典：総務省「マイナンバーカード交付状況」

重点施策

- ・市役所に来なくても行政手続きができる、オンライン化や使用料等のキャッシュレス化の推進
- ・AI ※を含むデジタル技術を活用した行政業務の効率化とデジタル人材の育成
- ・スマホ教室の開催等によるデジタルデバイドの解消

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	オンライン申請のメニュー数	件	74	150
2	諸証明書交付申請におけるオンライン申請の割合	％	20.7	23.0

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 市民サービスの利便性の向上	① 「行かない」窓口の推進	・いつでも、どこでも手続きできるオンライン化の推進 ・証明書等のコンビニ交付の推進
	② 「待たない」「書かない」「迷わない」窓口の推進	・総合窓口システムの効果的な運用と次期システムの導入 ・マイナンバーカードの円滑な更新
	③ キャッシュレス決済の推進	・クレジットカード決済やコード決済の決済手段の拡充 NEW!
(2) 行政事務の効率化の推進	① デジタル人材の確保・育成	・高度なデジタル技術と専門的なノウハウを持った外部人材の活用 ・研修及び教育プログラムの実施による、職員自らがDXを推進する能力の育成
	② デジタル技術の活用	・業務へのAI-OCR ※・RPA ※導入の推進 ・生成AI・音声認識システムの活用 ・テレワークの推進 ・BPR ※の推進 ・電子決裁・文書管理システムの導入 NEW!
	③ 情報セキュリティ対策の徹底	・情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策の徹底
(3) 活力ある地域づくりの推進	① デジタルデバイドの解消	・市民向けスマホ教室の開催 ・公共施設の公衆Wi-Fiの運用
	② マイナンバーカードの利用促進	・マイナンバーカード活用の周知・啓発
	③ 地域におけるDXの促進	・各分野におけるDX推進の支援 ・オープンデータの活用推進 ・スマート農業の推進【再掲】 ・労働環境の改善と効率的な森林整備を促進するためのスマート林業の推進【再掲】 ・公共交通のDX推進【再掲】 ・AIドリル導入等による教育DXの推進【再掲】

用語解説

※ DX：デジタル技術が社会に浸透し、人々の生活をあらゆる面でより良いものに変えていくこと。

※ AI：人間が行う知的な活動をコンピューターで模倣や再現する技術やシステムのこと。

※ AI-OCR：紙文書をスキャンにより読み取り、文字をデジタルデータに変換するOCR技術に取り込み、読み取り精度を高めたもの。

※ RPA：人がコンピューターを操作して行う作業をソフトウェアにより自動化する仕組み。

※ BPR：業務プロセスを根本から見直し、再設計して効率化と最適化を図る取組。

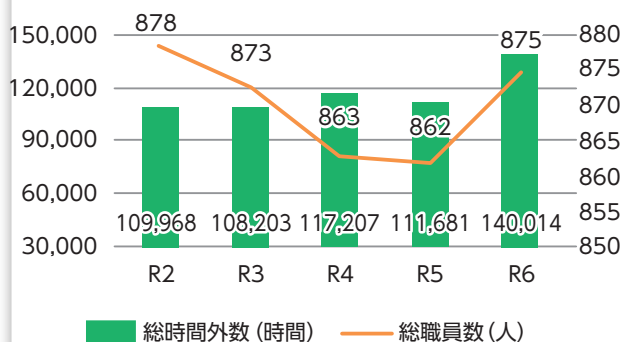
関連SDGs



現状と課題

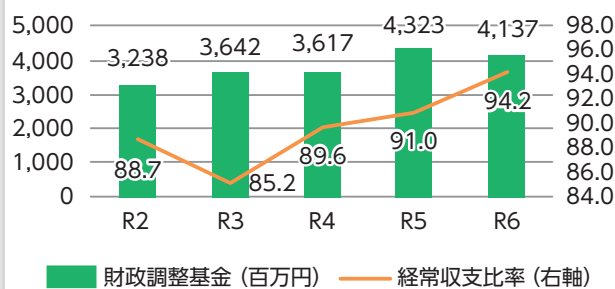
- ・人口減少等の社会情勢等の急激な変化や市民ニーズの多様化により、求められる行政サービスも多様化しています。
- ・社会保障関連経費の増大や労務単価、物価の高騰等により財政の硬直化が進んでおり、事業の選択と集中の徹底とともに、一層の行政改革や業務改善の取組が必要となっています。
- ・老朽化した施設やインフラの維持管理や更新費用も増大しており、除却も含め、効果的・効率的な公共施設の運営が必要となっています。
- ・行政需要の広がりに対応できる職員の育成が求められています。

総時間外数と職員数の推移



出典：鹿沼市調べ

財政調整基金残高と経常収支比率の推移



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・外部委員による政策評価を通じた第9次総合計画の着実な推進
- ・財政健全化推進計画に基づく安定した財政基盤の堅持
- ・ふるさと納税の拡充等による「稼ぐ自治体」の実現
- ・市民の利便性向上と行政運営の効率化の両立を目指し、行政改革大綱の推進
- ・公共施設等総合管理計画に基づく効率的な管理と賃貸借や売却等による効果的な資産運用の推進
- ・定員適正化計画に基づく定員管理と新たな行政需要に迅速かつ柔軟に対応できる人材の育成

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	公共施設の民間活用数(累計)	件	8 (令和2～6年度)	10 (令和8～12年度)
2	市税徴収率(国保除く)	%	97.3	97.9

★ 施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 効率的かつ効果的な行政運営の推進	① 計画行政の推進	・ 総合計画の進行管理と毎年度の予算を伴う実施計画の策定 ・ 業務改善に向けた政策評価の実施 ・ 根拠に基づく政策立案の推進 ・ 近隣自治体や友好都市と連携した広域行政の推進
	② 効率的な行政運営	・ 行政改革大綱に基づく行政改革の推進 ・ 庁内業務の効率化・最適化 ・ 入札・契約事務の効率化
(2) 健全な財政運営の堅持	① 健全財政の堅持	・ 財政健全化推進計画に基づく計画的な財政運営の推進
	② 財源の確保	・ 受益者負担の原則に基づく使用料・手数料の適正化 ・ 市税の適正な賦課と市税収入の確保 ・ 公金納付の口座振替の推進 ・ ふるさと納税制度の活用拡充
(3) 職員の人材育成	① 人員配置の適正化	・ 定員適正化計画に基づく定員管理 ・ 適材適所の人員配置 ・ 人事管理業務 DX 化 NEW!
	② 職員の人材育成	・ 職責、職種、キャリアに応じた研修 ・ 業務に必要な資格の取得支援の拡充
(4) 公共施設の総合的な管理	① 公共施設の総合管理	・ 公共施設等総合管理計画に基づく維持管理コストの削減 ・ 統廃合・複合化・長寿命化などによる適正配置の検討
	② 市有財産の有効活用	・ 民間提案制度や公売による遊休資産の有効活用 ・ ネーミングライツの活用拡充

大項目

6

「開かれたまち」

関連 SDGs





かぬまふるさと大使
高山 美乃里 さん 作